



の がき 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・暮らし・平和



2025年4月16日 No.217 連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

生理の貧困について考えよう!

女性トイレで生理用品を無料配布する区立施設が増えました



生理用ナプキンの無料配布に添えられたミモザのイラストメッセージ

誰もが生理用品を入手できるようにすることは、生理の貧困をなくし、女性の健康と衛生、尊厳や人権を守る上で重要な課題です。
井草地域区民センターなど**3カ所**で**新たに無料配布**

杉並区では、これまでジェンダーギャップの解消や女性の健康支援の視点から、区役所本庁舎、西荻、高井戸、高円寺の各地域区民センター、ウエルファーム杉並などで生理用ナプキン無料配布の試行の取り組みを行ってきました。

4月4日からは、新たに井草、阿佐谷、永福和泉の各地域区民センターでも無料配布を開始。

岸本区長は、「杉並区では2022年から全区立小中学校で生理用品の無料配布をトイレで行っています。トイレトペーパーと同じように必要な人が入手できるようにという気持ちです」「すべての人が尊厳をもって

共産党女性議員の発信

生理期間を過ごせるように杉並区としても取り組んで参ります」と動画で発信しています。

3月に、日本共産党の吉田あやか三重県議がSNSで、「いきなり生理になって困った。トイレトペーパーみたいに、生理用ナプキンをどこにでも置いてほしい」と投稿し、大きな話題となりました。

多くの共感が寄せられる一方、「コンビニで買え」「持ち歩いていないのか」など酷いコメントも多くありました。

自民党元議員の遅れた認識

自民党から参院選に出馬予定の杉田水脈氏は、「常時ポーチの中にナプキンを1つ入れておきなさいってお母さんから教えてもらいませんでしたか? 女子の嗜みですよ」とコメント。生理の貧困は国も取り組んでいる政治的・社会的課題であり、認識不足としか言いようがありません。

その後、吉田議員に殺害予告メールが8千件も届きました。殺害

生理用品無料配布アンケート

区での今後の取組の参考のためのアンケートにご協力ください。



「生理の貧困」の解決へ

私も議会で生理の貧困や生理用品の無料配布を取り上げ、学校や公共施設のトイレに生理用品の設置が進んできました。

たとえば、災害時に避難所で運営側の知識不足のために十分な備蓄がなかったり、必要な言い出せなかったり、入手できずに感染症にかかることもあります。あらゆる人の人権や尊厳を尊重するための人権教育・包括的性教育が改めて重要になっていきます。

今後とも党区議団と連携し、生理や「生理の貧困」に対する知識や意識の共有とさらなる拡充を求めていきたいと思えます。

多摩全生園の春の桜並木と国立ハンセン病資料館の見学へ



ごみ焼き場の残滓を運び、その上に土をかぶせて植栽した「けやきの丘」

4月15日、野垣あきこ地域後援会で、東村山にあるハンセン病療養所多摩全生園と国立ハンセン病資料館に行ってきました。

国の誤った隔離政策と差別 患者運動で名誉を回復
国は1907年からハンセン病対策を始めますが、治療よりも隔離がメインでした。多摩全生園は療養所として1909年に東村山市に開設されました。

全生園の敷地内にある国立ハンセン病資料館は1993年に開館。1996年に「らい予防法」が廃止され、2001年のらい予防法違憲国家賠償請求訴訟の判決などを受けて、2007年に国立の施設として再開館しました。
療養所での数々の人権侵害
療養所では苛酷な生活や労働、懲戒検束、断種、墮胎などが行われていました。戦後も、ハンセン



教会

納骨堂

病の特効薬が発見されていたにも関わらず、半世紀も隔離政策が続きました。入所者は外出も許されないうえ、療養所内には学校、寺社や教会、火葬場、納骨堂までありました。

入居者たちの自治と運動

療養所では療養生活上の課題を解決するため、入所者たちによる自治会があります。戦後の民主化のなか、自治会は当事者自らが闘い、社会復帰していく土台となり、ついにはらい予防法の廃止、国家賠償請求訴訟の勝利に繋がります。

しかし、国賠訴訟が終わってもハンセン病問題は終わって

ません。原告はほとんど実名を公表しておらず、家族から患者が出たことを隠して生活している人がほとんどです。

資料館の展示から、ハンセン病の歴史などを目の当たりにし、差別と偏見をなくさなければとの思いを新たにしました。みなさんもぜひ一度、全生園に足を運んでみてください。天気もよく、八重桜やチューリップを見ることができました。

国立ハンセン病資料館ではユーチューブ動画も発信しています。



都議選・参院選勝利

日本共産党大演説会



5/11(日)
14時～
池袋駅東口

YouTubeでも
配信予定です!



あきこの部屋

13日から大阪・関西万博が始まりました。いくつもの未完成のパピリオン、元消防士の共産党議員が高濃度メタンガスの発生を指摘、2億円のトイレが使えない、会場で売っている食べ物が高額…信じられないような課題が山積しています。

子ども招待事業は、コロナ禍での東京オリンピックを思い起こします。今回も中止する自治体や学校が相次いでいます。赤旗やフリーの記者が取材か

ら締め出されるという事態も発覚。万博自体を否定する訳ではありませんが、よほど報道されたくない何かがあるのかと勘ぐってしまします。公金が投入されている以上、報道の自由を規制する万博などあり得ません。

来場者の安全よりも、跡地の2030年からのカシノ開業がメインということが見え見え。ギャンブルで経済を活性化しようなどという大阪維新の会の愚策は絶対に許されません。